

日本語と日本文学

第 67 号

平安和歌における柳と花	渦巻 恵 (3)
「紫峰」の淵源 —筑波山の「紫」をめぐる文学史—	茂野 智大 (19)
自閉する文学表象 —『雲は天才である』に語られる啄木の自我—	林 一晟 (37)
『源氏釈』現存諸本および陽明文庫本『源氏物語』における末摘花の 呼称をめぐる	小林 雄大 (49)

日中同形形容詞に関する一考察 —日本語教育の観点から—	馮 元 (左 65)
芥川賞作品コーパスの構築に向けて —語彙調査に関する未解決の問題との関連から—	菅野 倫匡 (左 75)
日中オノマトペにおける「笑い」表現の使用とその日中対訳	孫 逸 (左 89)
格支配の量的分析に基づく対象移動動詞の分類と考察	趙 金昌 (左 105)

令和 3 年 8 月

筑波大学日本語日本文学会

投稿規定

- 一、投稿資格を有するものは、本学会の会員とします。
- 一、投稿論文は四百字詰原稿用紙四十枚（二万六千字）程度。ワープロ原稿の場合はハードコピー二部に電子媒体ファイルを添付してください（原稿と電子媒体は原則としてお返しいたしません）。
- 一、投稿は、毎年二月末日までに、編集委員会あてに送付してください。
- 一、投稿論文の採否は、編集委員会で指名する複数の査読者による審査をへて、編集委員会で決定して投稿者に報告します。
- 一、本誌の論文は、筑波大学附属図書館のつくばリポジトリに登録され、全文データベースとして蓄積・利用されます。

一、原稿送り先

〒305-8717茨城県つくば市天王台一丁目一―一
筑波大学人文社会学系矢澤真人研究室
筑波大学日本語日本文学会
『日本語と日本文学』編集委員会
（編集委員）石塚修（委員長）・大倉浩・
甲斐雄一郎・矢澤真人・馬場美佳

投稿案内

本学会誌は、本学内関係者のみならず会員の多くの方たちからの投稿をお待ちいたしております。日本文学・日本語学・応用言語学・国語教育学の幅広い分野から投稿いただけます。海外からの投稿も積極的にいただいております。

査読については、学外の各分野で学術的な活動を行っている卒業生などを中心に依頼し、編集委員会で、その結果、採否・修正などを決定しております。

投稿の受理に際しましては、会員としての登録と継続の確認を前提といたしますので、あらかじめご了承ください。また、編集の際に支障をきたす可能性がありますので、連絡先などもメールアドレスのみではなく、現住所・電話番号など確実にお知らせくださいますようお願い申し上げます。

編集後記

第六十七号をお届けいたします。今号は投稿原稿も多く寄せられておりましたが、コロナ感染症の拡大のため、大学がリモート授業になるなどの影響で、編集がやや停滞して、皆様にご迷惑やご心配をおかけいたしました。学外への査読については、皆

様、後進のために快くお引き受けくださり、投稿論文についても温かなご助言・ご指導をいただきましたことを、この場を借りまして深く御礼申し上げます。

高校の教科が大幅に変更されるにあたり、文学教育の危機が叫ばれています。まさに本学の前身であります東京師範学校・東京高等師範学校・東京教育大学の伝統こそが、文学と語学、そして教育学との豊かな連繫をもつて優秀な中等教育教員の人材を育成して、日本社会に貢献してきたわけです。組織は変わっても、その伝統を先人から後進へと確実に継いでいくことこそが、そうした危機への最大の防御であります。その大切な楯が本誌であることも願って已みません。

（編集委員長 石塚）

令和三年八月三十一日印刷

令和三年八月三十一日発行

〒305-8717茨城県つくば市天王台一丁目一―一

筑波大学人文社会学系

編集・発行 筑波大学日本語日本文学会

代表者 矢 澤 真人

印刷所 第一印刷株式会社

☎〇二八二（三一）一五五一